ドローン活用によるレンコンの追肥省力化
～実証から本格導入へ～

１　普及活動のねらい

れんこん産地協議会（47 戸）は、農作業の負担軽減やレンコンの収量・品質向上を目指して、スマート農業技術や新品種の導入に取り組んでいる。本年度は、ドローンによる粒状肥料追肥散布の産地への本格導入促進を目的に、省力効果と収量・品質への影響を調査した。

２　普及活動の成果

被覆加里化成およびファイトアップ粒剤を散布した試験区において、慣行区と比較して収量・２Ｌ率が高くなり、追肥による収量向上効果を確認することができた。

散布時間、生育状況、収量や等級比率などの導入判断に必要な情報を整理し、れんこん産地協議会で共有したことで、ドローンによる粒状肥料追肥散布の効果について、産地全体での理解が進んだ。

実証農家４戸は、ドローンによる粒状肥料追肥散布の省力効果と収量への一定の効果を認め、次年度も散布継続を希望した。

実証農家以外でも７戸で有償散布が実施され、普及拡大に向けた基盤が形成された。

３　普及活動の内容

れんこん産地協議会事務局のＪＡあいち海部及び実証農家と協議し、肥料の種類や施肥量、施肥時期を検討したうえで試験ほ場の設置を支援した。

ドローンによる粒状肥料追肥散布時に、散布時間を計測し、省力効果の把握を行った。また、生育状況を確認して濃度障害が発生していないことを確認した。



レンコン田の上空を飛ぶドローン

実証農家への聞き取りとＪＡ出荷履歴から試験区ごとの収量・等級比率・販売金額を調査し、ＪＡ及び実証農家と経済性評価や導入効果について意見交換を行った。調査結果を資料にとりまとめ、れんこん産地協議会で共有し、産地全体での理解促進を図った。

重点課題名 普及事項名	３　スマート農業技術の活用による野菜産地の育成 （８）レンコンにおけるドローンを利用した粒状肥料追肥散布の推進